

第 18 回北海道新幹線倶知安駅周辺整備推進委員会 開催報告

1. 日時

2024 年 12 月 18 日（水）10：00～

2. 場所

倶知安町役場 2 階 会議室



3. 議事

(1) 西口広場機能について … 資料 1-1、1-2

(倶知安町 木村係長)

- ・資料 1-1 について説明

(柏谷委員)

- ・融雪システムを導入した場合、除雪は全く不要という認識でよいか。また、融雪システムは車両の荷重に耐えられるのか。

(ドーコン 向山)

- ・除雪は対応しない方針としている。導入する融雪システムは、自家用車の荷重に耐えられる設計となっている。

(柏谷委員)

- ・除雪車の荷重には耐えられるか？

(ドーコン 向山)

- ・重量のある車両が通っても問題ない設計も可能。

(柏谷委員)

- ・融雪の方法は、24 時間常時融雪なのか、センサーによる融雪なのか。

(ドーコン 向山)

- ・雪を検知するセンサーや路面温度または路面水分を検知するセンサーを用い、雪が積もると自動検知し、雪がなくなるまで融雪を行うシステムの導入を考えている。

(柏谷委員)

- ・どの融雪方式でもスイッチを入れてから温まる時間は同じなのか。

(ドーコン 向山)

- ・そのとおり。

(柏谷委員)

- ・今町で検討中の融雪方法 (①、⑧、⑨) であっても、同じ費用で管理可能なのか。

(ドーコン 向山)

- ・そのとおり。

(柏谷委員)

- ・駅前広場は西と東に分かれているが、システムと費用について変わるか。

(ドーコン 向山)

- ・システム構成は、東・西で変わらない。費用は、面積に応じて変わる。

(柏谷)

- ・融雪システムの導入について、どの補助金を活用しようと考えているか。
- ・木質チップの確保は難しいと聞いているが、やはり難しいものなのか。検討状況を伺いたい。海外からチップを確保するのは可能か。

(倶知安町 木村係長)

- ・チップの供給時期は冬だけであることと、保管庫の確保が難しい状況であることが問題となっている。海外からチップを確保するかどうかは、検討出来ていない。
- ・現時点では再エネ関連の補助金を活用することが考えられるが、北海道新幹線の開業時期が分からないため、現時点では確かなことは言えない。

(吉田委員長)

- ・木質チップボイラーについて、保管庫の面積の確保が困難とのことだが、森林組合等への意見聴取は済んでいるのか。

(倶知安町 西口主幹)

- ・森林組合からは、供給はできるが、町で木質チップを扱う施設が増えた場合、一定ラインを超えると供給は難しいと言われている。
- ・木質チップボイラーの特性上、急増する降雪への対応をすぐに行うのが難しい。これらを踏まえ、町全体で木質チップボイラーを活用するという方針であればいいが、駅単体で利用するのは難しい状況。

(柏谷委員)

- ・胆振・渡島・石狩の森林組合等に話を聞いたところ、大量に木質チップを使用する場合、それ用に木を切る必要が出てきてしまい、事業の内容が変わってきてしまうため、木質チップの供給には協力できないとのこと。
- ・一方、共和町でチップを活用したいと考えている事業者から聞いた話では、周りからの木質チップの供給が困難であったので、海外から供給しているということ、情報共有させていただく。

(倶知安町 木村係長)

- ・資料1-2について説明

(柏谷委員)

- ・ケース I の予算について、北陸新幹線飯山駅のキャノピーのような雪対策は考慮されてい

るのか。

(ドーコン 朝倉)

- ・通常のキャノピーの費用のみであり、雪対策の検討はしていない。

(佐藤委員)

- ・当初の検討ケース I の平面駐車場は、何台止められるか。

(ドーコン 朝倉)

- ・当初は、129 台となる。

(吉田委員長)

- ・日影規制は駐車場の利用としても規制されるのか。平面駐車場としてなら使えるのか？

(ドーコン 木川田)

- ・建物を立てなければ、利用できる。

(小泉委員)

- ・不格好になっても、検討ケース I の空いたスペースに平面駐車場を建てられる可能性はある。

(吉田委員長)

- ・日陰部分を車路として活用することも可能か。

(ドーコン 木川田)

- ・可能である。

(吉田委員長)

- ・可能であるならば、車路の位置を、倶知安町総合体育館に配置してはどうか。

(ドーコン 朝倉)

- ・バスの軌跡の関係を踏まえて、今の配置をとっているが、バスロータリーの検討と併せて車路の位置を変更する案を検討する。

(佐藤委員)

- ・夏場、日影規制部分を活用し、平面駐車場として利用できるかと思った。

(吉田委員長)

- ・今の 2 つの意見の検討を事務局へ依頼する。

(柏谷委員)

- ・佐藤委員のイメージは、屋根なしで平面駐車場を整備するイメージでよいか。

(佐藤委員)

- ・そのイメージ。

(窪田委員)

- ・検討ケース I について、200 台を確保するには 4 階建てにする必要があるかと思う。過去の委員会で示したように、視覚的に景観がどう見えるかを図化する必要がある。

(2) 都市施設機能について … 資料 2

(倶知安町 木村係長)

- ・資料 2 について説明

※委員から意見なし。

4. その他

(倶知安町 木村係長)

- ・ 次回の委員会は、2月または3月の開催を予定している。

(吉田委員長)

- ・ 転車台の活用について、町でなにか検討をしているか。

(倶知安町 西口主幹)

- ・ 倶知安風土館にて、今年度、転車台の図化を完了している。図化を基に転車台を求める自治体へ譲ることを考えていた。

(吉田委員長)

- ・ 町内に転車台を残したいと考え、有志を募ってクラウドファンディングを実施しようと考えている人がいることを共有する。

以上